

No.162

モラロジー 道徳教育

～知徳一体の教育をめざして～

- 「捨て犬・未来、命の授業」で伝える自己肯定感とは？ 今西乃子
- 子ども食堂と新型コロナ 高橋 亮
- 令和道徳教育への一提言 川久保 剛
- 令和2年度第49回関東甲信越中学校道徳教育研究大会千葉大会に向けた取り組み 在原 徹
- 「未来を拓くキャリア・スタディ」 秋元誠道
- サタモラ&メルマガ
- 学校のちょっといい話 鍵山智子

編集・発行 公益財団法人モラロジー研究所
生涯学習本部 学校教育センター

〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号
電話 04-7173-3219 ファックス 04-7176-1177

未来ある若人と一緒に生きる幸せ

ユニバーサルエンターテインメント
アスリートクラブ監督 深山 文夫



一つのことに取り組んで生きる若人と共に、夢を追いかけていられたい。そんなことを毎朝思いながら新しい朝を迎えています。

今、チームには十三名の心美しい長距離アスリートがいます。普段は二十〜三十歳代の一般の女性と何一つ変わらない、愛らしくどこにでもいるような女性です。でも彼女たちはいつも一つ、大きな「夢」を追いかけています。

彼女たちは「かけっこ」大好き、そのかけっこを通して自身の人生に大きな花を咲かせたいと思っているのです。私はそんな彼女たちと同じ場所で同じ時を生き、一緒に呼吸していられることに毎日感謝しています。

だからこそ、彼女たちの「夢」のために何かできることがあれば、指導者だの監督だのといった、カッコいい肩書はどうでもいいので、「何でも屋・なんでもやる道化師

スマホ一つあれば、あつという間に何でも手に入る時代だからこそ、思うように事が進まなくても、コツコツ前向きに

職人」になりたいと思っています。また、日々の彼女たちの「夢の実現」のためにそうありたいと思ってもやみません。なぜなら、彼女たちの言動は周囲の人々を感動させるエネルギー・パワーみたいなもので満ち溢れているからです。

私が携わっているこの仕事には、セオリー・ルール・法則などはないように思うこともあります。

彼女たちは、自分の「頂き」をそれぞれが目指しているため、とてつもない汗は勿論のこと、時に苦しみ、悲しみ、辛さ、涙でいっぱいばいばいです。でも彼女たちは諦めません。どんな日々を過ごそうとも、一日の終わりに、笑顔でまた次の日を迎える気持ちで過ごそうとします。

そんな彼女たちの夢のために、私が汗を拭くタオルになり、涙を拭くハンカチになり、時に草だらけの道を先に歩いて、ほんの少しだけの道標を作ってあげられたらどんなに素晴らしいことでしょうか。

私自身、何歳になっても「青春ど真ん中」の思いで、目の前に起きる出来事、出会う人、出会う本、全てに感謝とありがたみの気持ちで生きたいと、そして起こりうるすべてのことを受け入れて、人生そのものを歩みたいと思います。

人生の一步なんて見えないくらいのものだと思いますが、彼女たちの土・水・栄養・太陽になり、自分自身もいろいろな人に助けられながら歩めたら、こんな素晴らしい人生はないだろうなと思いつきに就き、そして次の朝にまた目覚めます。